

卓話

平成 20 年 5 月 27 日

篤 姫 と 幕 末

岐阜観光コンベンション協会
観光歴史アドバイザー
加納宏幸様

NHK 大河ドラマで進行中の篤姫とその時代についてお話しします。

先日、和宮と篤姫（天璋院）の官軍隊長に宛てた書状の真筆が公開されました。大変なにぎわいで、篤姫に対する関心の高さを強く感じました。

篤姫は薩摩島津の分家、今和泉島津家の島津忠剛の長女として誕生し、17歳の時に、薩摩藩主島津斉彬の養女となりました。その後、22歳の時に徳川13代将軍家定の御台所（正室）になるという波乱万丈の人生を歩むことになりました。この結婚も家定の死去により、1年4ヶ月の短さであり、女の幸せは薄いものでした。その後の天璋院（篤姫）の西郷隆盛に宛てた嘆願書のかいもあって、江戸城の無血開城につながったのは、特筆すべきことと思います。



＜講師プロフィール＞

【経歴】

- ・1931年生まれ 岐阜県揖斐郡大野町出身
- ・岐阜大学教育学部史学科卒業
- ・岐阜県内小中学校勤務
- ・安八郡南平野小学校長、岐阜立金華小学校長、岐阜県歴史資料館長、岐阜市歴史博物館長、岐阜城副館長等歴任

【現在】

- ・財団法人 岐阜観光コンベンション協会 観光・歴史アドバイザー
- ・岐阜市歴史博物館友の会 会長
- ・岐阜県歴史資料保存協会 顧問

【著書等】

- ・「わたしたちの岐阜県の歴史」「豪商物語」「十八楼物語」「新修関市史」「萩原町史」を執筆監修
- ・岐阜新聞連載
「岐阜城築城 800 年物語」「続岐阜城築城 800 年物語」「ぎふ長良川鶴飼 1300 年物語」